

TEC-FORCEの活動状況

能登半島 ドローンの活用

共に北海道の未来を創る
第9期北海道総合開発計画



北海道開発局ホームページへはこちらから。

TEC-FORCEの活動状況【能登半島 ドローンの活用】

令和6年9月20日からの能登地方大雨に対し、災害復旧支援のため、北陸地方整備局管内にTEC-FORCE隊員を派遣しました。(先遣班:1班、河川調査班:3班、道路調査班:3班 計7班)
令和6年10月3日～10日にのべ200人・日の隊員が活動。大規模河川氾濫箇所においても、実戦訓練を積んだ隊員がドローンを操縦し、安全かつ効果的に現地調査を行いました。



輪島市 すずやがわ
鈴屋川



輪島市 たながいがわ
田長井川



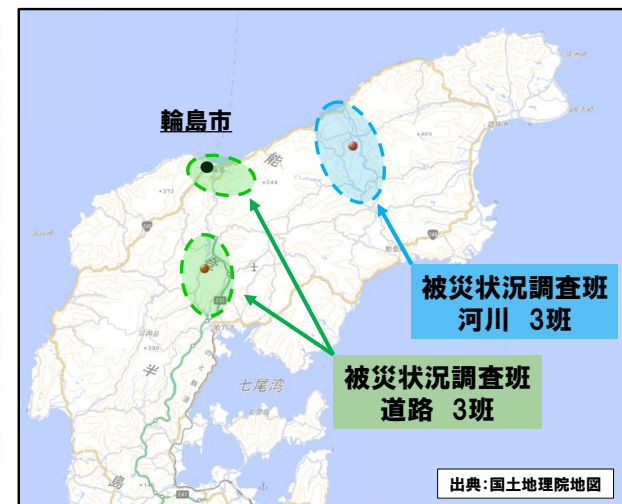
北海道開発局TEC-FORCEドローン隊



北海道開発局TEC-FORCEドローン隊



輪島市 こにしやまがわ
小西山川

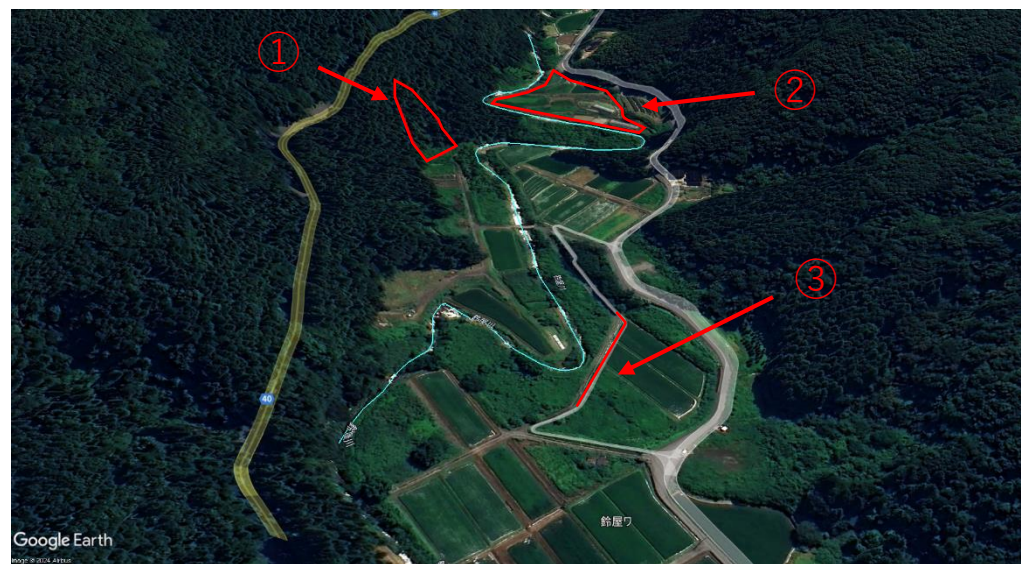


TEC-FORCEの活動状況【ドローンと3Dモデルの活用】

ドローン撮影画像から被災後の3Dモデルを作成し、被災前の状況と重ね合わせることで、被災箇所の速やかな把握が可能となります。

また、3Dモデル作成により現地測量が不要となるため、安全かつ効率的に、被災延長、崩壊土砂量、被災面積等が計測できます。

通常の徒歩による現地調査では、約2～3ヶ月の調査期間が必要と想定されます。それに比較しドローンによる調査では、約2～3日で可能と考えます。



鈴屋川 被災**前**の状況
Before



鈴屋川 被災**後**の状況
After